

今年の夏は猛暑日がふんだんに惜しげもなくあった。そのせいかどうか分からないけれど桜が狂い咲き、(返り咲き)枝の先にわずかに花を付けている。今は秋ですよ。これでは来春の桜はどうなるの。心配はないとのこと。花見はできませんとのこと。今咲いた枝には花は付けないが、咲いていない枝には春に咲くという。今咲いている花の数は極少量なので問題ないという。これで来春の花見はなんの支障もない。そういえばわが家のユスラウメも花を付けたものが多少あり。ユスラウメで花見はないだろうからいいけれど。最初は実は食べる積もりだったが、美味しくないので梅酒に習って「ユスラウメ酒」を造ってみようと思ってみたがどうも思った様な味にならない。梅酒造りも止めた。こうなればどうでもよくあとは小鳥達に差し上げることにした。ユスラウメの実ははじめ、白っぽいそれから青みかかって、黄色、赤み、次に濃い赤となる。こうなると翌日食べてみようかと思っていると、翌日は小鳥に食べられてない。初夏に実るこれを食べる小鳥を目撃、なんとヒヨドリだ。漂鳥なのでとっくに北海道にかえっているはず。一部のヒヨドリは留鳥になった。津軽海峡のハヤブサが怖いかな。

狂い咲き 18/10/30 Hidekuro



木全体



狂い咲きの白い花は少々